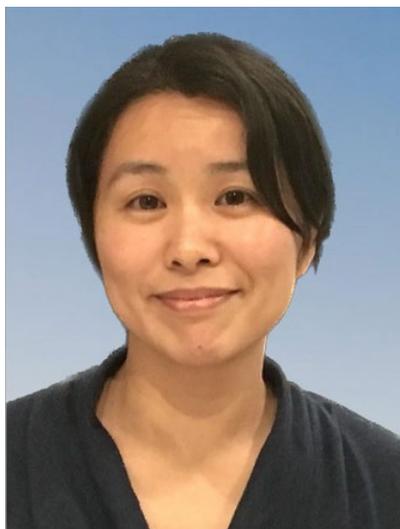


生物学科セミナー & HLS 研究所共催セミナー
遺伝子抑制に重要なエピジェネティック修飾
の標的選択と環境ストレス制御



東京科学大学 生命理工学院
藤 泰子 准教授

多くの生物のゲノム DNA には、生命機能に必要な遺伝子だけでなく、転移因子やウイルスなどの潜在的に有害な配列も多量に含まれます。そのため生物は、これらをきちんと見分け、それぞれに適したエピジェネティック修飾を施して、その発現を制御します。しかし、生物はゲノム内の機能遺伝子と有害配列をどのように見分けているのでしょうか？本セミナーでは、植物の DNA メチル化機構がその標的を選択する仕組みや、遺伝子抑制機構の環境ストレス制御における役割について、最近の知見を報告します。

12月6日（金）15時00分～17時00分

講演後に学生懇談会あります！

場所：理学部2号館 405 第二講義室

参加連絡先：office-ihls@cc.ocha.ac.jp

申し込みはこちら→

